

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則無期限	
運用方針	日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、直接債券等に投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得する場合に限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得する場合に限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算時(5月23日、11月23日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。)収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

Morgan Stanley

モルガン・スタンレー・ グローバル・ボンド・ オープン

運用報告書（全体版）

第35期（決算日 2016年 5月23日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・オープン」は、去る2016年5月23日に第35期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インバーストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目 9 番 7 号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.co.jp/im/

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
31期 (2014年5月23日)	10,629	50	3.0	15,578	3.3	94.1	—	524
32期 (2014年11月25日)	11,208	50	5.9	16,610	6.6	91.6	—	593
33期 (2015年5月25日)	11,167	50	0.1	16,761	0.9	90.5	—	647
34期 (2015年11月24日)	11,152	50	0.3	16,903	0.8	85.1	—	683
35期 (2016年5月23日)	10,963	50	△1.2	16,887	△0.1	86.1	—	710

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) ベンチマークとしてシティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）を使用しています。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、ファンドの設定日の値を10,000として指数化しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2015年11月24日	円	%		%	%	%
	11,152	—	16,903	—	85.1	—
11月末	11,182	0.3	16,910	0.0	84.2	—
12月末	11,068	△0.8	16,738	△1.0	84.8	—
2016年1月末	11,220	0.6	17,029	0.7	86.2	—
2月末	11,089	△0.6	16,944	0.2	84.7	—
3月末	11,177	0.2	17,062	0.9	89.1	—
4月末	10,989	△1.5	16,830	△0.4	86.0	—
(期末) 2016年5月23日	11,013	△1.2	16,887	△0.1	86.1	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

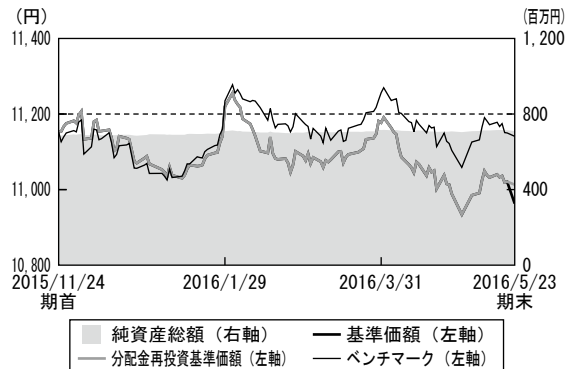
(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) ベンチマークとしてシティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）を使用しています。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、ファンドの設定日の値を10,000として指数化しています。

■運用経過

基準価額等の推移



第35期首：11,152円

第35期末：10,963円 (既払分配金50円)

騰落率：△1.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ)です。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売相場仲値を用いて当社が独自に円換算し、為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。ベンチマークは、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期は、債券市場が上昇(金利は低下)したものの、為替市場において円高が全般的に進行したため、期首に11,152円でスタートした基準価額は期末には11,013円(分配金50円込み)と下落しました。

投資環境

- ① 米国債券市場は、当初は12月に米国において利上げ開始が決定され、今後の追加利上げの可能性を織り込みながら短期ゾーンを中心に下落(利回りは上昇)しました。しかし1月以降は、世界的な景気減速が懸念されたことに加えて、米国の追加利上げ期待が後退したことや、ECB(欧州中央銀行)による追加緩和期待が高まったこと、日本銀行がマイナス金利の導入を決定したことなど世界的に先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続すると期待されたことが背景となり上昇(利回りは低下)する展開となりました。2月中旬以降は過度な景気減速懸念が後退したことで一旦は下落(利回りは上昇)に転じたものの、追加利上げ期待は高まらず、概ねレンジの範囲内での推移となりました。
- ② ドイツ債券市場は、当初はECB(欧州中央銀行)による追加緩和が期待され、12月にECBは追加緩和の実施を決定したものの、市場参加者が事前に想定していたよりも小規模な内容であったことから一旦は大幅に下落(利回りは上昇)しました。しかしその後はドラギECB総裁が追加緩和の可能性を示唆し、3月にECBが追加緩和の実施を決定したことで、世界的な債券市場に連動しつつ上昇(利回りは低下)傾向で推移しました。
- ③ 為替市場は、ドル円市場において、当初は米国での利上げ開始が円安米ドル高要因として意識され12月に米国で利上げが決定されたものの、その後は世界的な景気減速懸念等を背景にリスク回避的な動きが強まり全般的に円高が進行しました。1月末に市場参加者の事前予想に反して、日本銀行が新たな金融緩和措置としてマイナス金利の導入を決定したことで一旦は円安米ドル高に転じたものの、米国での追加利上げ期待の後退により米ドル安となったことやリスク回避的な動きを受けて再び円高米ドル安となりました。また、4月末の日銀の政策決定会合前に一部市場参加者間で追加緩和期待が高まったものの、日銀が金融政策を据え置いたことで円高米ドル安がさらに進行しました。ユーロについてはECBによる追加緩和がユーロ安要因として意識されたものの、米ドル安が全般的に進行したことに加えて、12月のECBによる追加緩和が小規模だったこと、3月にはECBが追加緩和を決定したもののドラギ総裁がさらなる追加利下げの可能性を否定したことから対米ドルではユーロが買い戻される展開となりました。一方で対円で円高の進行により円高ユーロ安となりました。

ポートフォリオ

マザーファンドへの投資を通じて、主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整するとともに、為替ヘッジを適宜実行し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュエーション・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュエーション・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

(1) 債券戦略

期首より、実質金利の観点から主要な債券市場は投資魅力度が低く、特に米国においては、経済ファンダメンタルズが相対的に良好なことに加えて、中期的な金融正常化を十分に織り込んでいない短中期セクターを中心にアンダーウェイトとしていましたが、利上げ開始を織り込む過程で短期セクターのアンダーウェイト戦略を解消しました。また、ユーロ圏の長期セクターをオーバーウェイトとする戦略を継続しつつ、ユーロ圏の周辺国においては、主に構造改革の進展やファンダメンタルズの改善等が期待されたアイルランド国債をオーバーウェイトとする戦略を継続しました。加えて、景気への配慮を目的に緩和的な金融政策の継続が見込まれるニュージーランドへの投資を継続しました。

(2) 為替戦略

期首より、相対的に経済ファンダメンタルズが堅調で、今後の利上げ局面が通貨のサポートとして考えられた米ドルをオーバーウェイトとしつつ、レンジ内で適宜調整したものの、バリュエーション等を考慮しオーバーウェイト戦略を解消しました。一方で、ドル圏においては、ニュージーランド・ドルやカナダ・ドルのアンダーウェイト戦略を解消しました。欧州圏内においては、英ポンドのオーバーウェイト戦略を解消し、ノルウェー・クローネのオーバーウェイト戦略を採用しました。

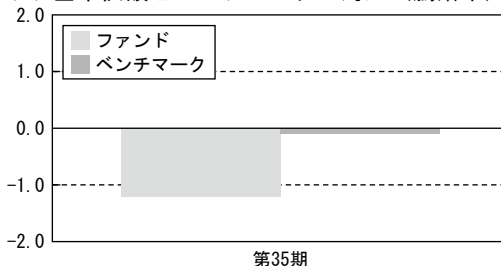
(3) 非国債投資戦略

期首には、金融緩和の長期化が高格付け非国債の安定した推移に繋がると判断し政府保証債等の高格付け非国債への投資を継続しつつも投資魅力度の変化に応じて、比率の調整を行いました。社債に関しては、金融セクターを選好する投資方針を継続しました。

ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが $\Delta 1.2\%$ 、ベンチマークが $\Delta 0.1\%$ となり、 1.1% のアンダーパフォームとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。為替戦略における米ドルのオーバーウェイト戦略や、金利戦略における米国のアンダーウェイト戦略がマイナス寄与しました。

(%) 基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり50円とさせていただきます。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第35期
	(2015年11月25日～2016年5月23日)
当期分配金	50
(対基準価額比率)	0.454%
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,567

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

米 国 債 券：米国においては引き続き緩やかな景気の拡大が続きファンダメンタルズ面がより安定化すると期待されます。緩やかなペースでの追加利上げが見込まれるものの、中期セクターは政策金利の引き上げを十分に織り込んでおらず相対的に金利上昇リスクが高いと判断することから、中期セクターを中心にアンダーウェイトとする戦略を継続する方針です。

欧 州 債 券：ユーロ圏においてはECBによる大規模な量的緩和政策の継続が長期セクターのサポート要因になると考えています。また、ユーロ圏の周辺国については、景気や財政状況の改善が特に顕著なアイルランド国債のオーバーウェイト戦略を継続する方針です。

為 替 戦 略：為替戦略において、米ドルについては今後の利上げが中長期的なサポート要因となり中長期的には相対的な投資魅力度が高いと考えていますが、レンジの範囲内で適宜調整する方針です。一方で、景気見通しが低調で金融政策が緩和的な通貨の投資魅力度は低いと考えています。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2015年11月25日～2016年5月23日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	68円 (33) (33) (3)	0.614% (0.294) (0.294) (0.027)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	13 (2) (8) (3)	0.116 (0.017) (0.073) (0.026)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	81	0.730	

当期中の平均基準価額は、11,120円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2015年11月25日から2016年5月23日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー・グローバル・ ボンド・マザーファンド	千口 51,411	千円 85,000	千口 3,882	千円 6,240

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2015年11月25日から2016年5月23日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 親投資信託残高

(2016年5月23日現在)

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 384,620	千口 432,149	千円 686,469

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末におけるモルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンド全体の口数は77,399,861千口です。

■ 投資信託財産の構成

(2016年5月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 686,469	% 95.2
コール・ローン等、その他	34,606	4.8
投資信託財産総額	721,075	100.0

(注1) モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (116,244,762千円) の投資信託財産総額 (126,893,001千円) に対する比率は91.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年5月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.82円、1カナダドル=83.77円、1メキシコペソ=5.99円、1ユーロ=123.27円、1英ポンド=159.24円、1ノルウェークローネ=13.19円、1デンマーククローネ=16.58円、1ポーランドズロチ=27.93円、1オーストラリアドル=79.50円、1ニュージーランドドル=74.46円、1南アフリカランド=7.04円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年5月23日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,222,439,896円
コール・ローン等	29,219,809
モルガン・スタンレー・ グローバル・ボンド・ マザーファンド(評価額)	686,469,464
未 収 入 金	506,750,623
(B) 負 債	512,091,074
未 払 金	503,697,010
未 払 収 益 分 配 金	3,239,652
未 払 解 約 金	147,813
未 払 信 託 報 酬	4,311,327
未 払 利 息	80
そ の 他 未 払 費 用	695,192
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	710,348,822
元 本	647,930,527
次 期 繰 越 損 益 金	62,418,295
(D) 受 益 権 総 口 数	647,930,527口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,963円

■損益の状況

当期 (自2015年11月25日 至2016年5月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△989円
受 取 利 息	557
支 払 利 息	△1,546
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△3,642,946
売 買 益	62,202,585
売 買 損	△65,845,531
(C) 信 託 報 酬 等	△5,006,519
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△8,650,454
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	28,625,012
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	45,683,389
(配 当 等 相 当 額)	(187,837,755)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△142,154,366)
(G) 計 (D+E+F)	65,657,947
(H) 収 益 分 配 金	△3,239,652
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	62,418,295
追 加 信 託 差 損 益 金	45,683,389
(配 当 等 相 当 額)	(188,075,413)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△142,392,024)
分 配 準 備 積 立 金	43,091,158
繰 越 損 益 金	△26,356,252

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	612,707,491円
期中追加設定元本額	85,147,059円
期中一部解約元本額	49,924,023円

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

投資信託約款に基づき計算した分配可能額は234,406,223円であるが、基準価額水準、市況動向および収益分配方針を勘案し、3,239,652円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

■分配金

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 込 み)	50円
-----------------------------	-----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

該当事項はありません。

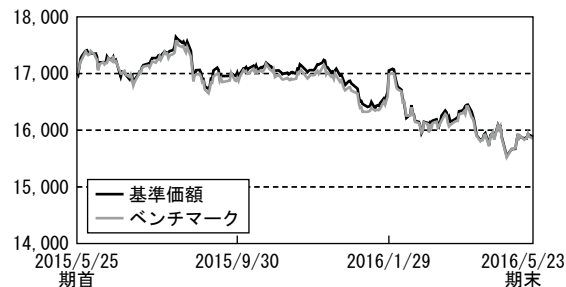
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンド ー第13期ー
 決算日 2016年5月23日／計算期間 (2015年5月26日～2016年5月23日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、主として日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券または新株引受権証書に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過 (2015年5月26日から2016年5月23日まで)

基準価額等の推移



(注1) ベンチマークは期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

(注2) ベンチマークとしてシティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

基準価額の主な変動要因

当期は、債券市場が上昇 (金利は低下) したものの、為替市場において円高が全般的に進行したため、期首に17,015円でスタートした基準価額は期末には15,885円と下落しました。

投資環境 (債券および為替市場)

- ① 米国債券市場は、当初はギリシャ情勢の不透明感や中国株式市場の暴落を受けたリスク回避的な動きが強まる局面があったものの、10月下旬以降に経済指標の改善等を受けて徐々に利上げ開始期待が高まり、短期ゾーンを中心に下落 (利回りは上昇) しました。12月に利上げ開始が決定されたものの、1月以降は、世界的な景気減速が懸念されたことに加えて、米国の追加利上げ期待が後退したことや、ECB (欧州中央銀行) による追加緩和期待が高まったこと、
- ② 欧州債券市場は、当初は投資家の金利先高観が強まり債券市場に対する需要が後退したことで下落 (利回りは上昇) する局面があったものの、その後は、ギリシャ情勢の不透明感を受けたリスク回避的な動きや、低調な景気及びインフレ見通しを背景にECBによる追加緩和が期待されたため上昇 (利回りは低下) 傾向で推移しました。ECBは12月及び3月に追加緩和の実施を決定し、さらに、世界的な債券市場に連動しつつ上昇 (利回りは低下) する展開となりました。
- ③ 為替市場は、ドル円市場においては、米国の利上げ期待の高まりや日銀による大規模な金融緩和政策の継続期待を背景に当初は円安米ドル高傾向で推移しました。一方で、8月には中国人民元の突然の切り下げをきっかけとしたリスク回避的な動きにより円高米ドル安となる局面があり、また、12月に米国での利上げ開始が決定されたものの、その後は追加利上げ期待が後退したこと等を背景に米ドル安の展開となったため、リスク回避的な動きも重なり、大幅な円高米ドル安となりました。ユーロについてはECBによる追加緩和がユーロ安要因として意識されたものの、米ドル安が全般的に進行したことから、対米ドルでは概ねレンジの範囲内での動きとなり、一方で対円では円高の進行により円高ユーロ安となりました。

ポートフォリオ

主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュエーション・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュエーション・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

(1) 債券戦略

期首より、実質金利の観点から主要な債券市場は投資魅力度が低く、特に米国においては、経済ファンダメンタルズが相対的に良好なことに加えて、中期的な金融正常化を十分に織り込んでいない短中期セクターを中心にアンダーウェイトとしていましたが、利上げ開始を織り込む過程で短期セクターのアンダーウェイト戦略を解消しました。また、ユーロ圏の長期セクターをオーバーウェイトとする戦略を採用し適宜調整しました。ユーロ圏の周辺国においては、主に構造改革の進展やファンダメンタルズの改善等が期待されたアイルランド国債をオーバーウェイトとする戦略を継続しました。加えて、景気への配慮を目的に緩和的な金融政策の継続が見込まれるニュージーランドへの投資を継続しました。

(2) 為替戦略

期首より、相対的に経済ファンダメンタルズが堅調で、今後の利上げ局面が通貨のサポートとして考えられた米ドルをオーバーウェイトとしつつ、レンジ内で適宜調整したものの、バリュエーション等を考慮しオーバーウェイト戦略を解消しました。一方で、ドル圏においては、ニュージーランド・ドルやオーストラリア・ドルのアンダーウェイト戦略を解消しました。また、カナダ・ドルをアンダーウェイトとする戦略を採用したものの、期中に解消しました。欧州圏内においては、英ポンドのオーバーウェイト戦略や、ノルウェー・クローネ及びスウェーデン・クローナのアンダーウェイト戦略を採用したものの期中に解消しました。その後、ノルウェー・クローネのオーバーウェイト戦略を採用しました。

(3) 非国債投資戦略

期首には、金融緩和の長期化が高格付け非国債の安定した推移に繋がると判断し政府保証債等の高格付け非国債への投資を継続しつつも投資魅力度の変化に応じて、比率の調整を行いました。社債に関しては、金融セクターを選好する投資方針を継続しました。

ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが△6.6%、ベンチマークが△6.9%となり、0.2%のアウトパフォームとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。債券戦略において、米国をアンダーウェイトにしていたことや、オーストラリアやニュージーランドをオーバーウェイトにしつつ適宜調整したことがプラスに寄与しました。一方、為替戦略において期中に採用していた英ポンドのオーバーウェイト戦略がマイナス寄与しました。

■今後の運用方針

米 国 債 券：米国においては引き続き緩やかな景気の拡大が続きファンダメンタルズ面がより安定化すると期待されます。緩やかなペースでの追加利上げが見込まれるものの、中期セクターは政策金利の引き上げを十分に織り込んでおらず相対的に金利上昇リスクが高いと判断することから、中期セクターを中心にアンダーウェイトとする戦略を継続する方針です。

欧 州 債 券：ユーロ圏においてはE C Bによる大規模な量的緩和政策の継続が長期セクターのサポート要因になると考えています。また、ユーロ圏の周辺国については、景気や財政状況の改善が特に顕著なアイルランド国債のオーバーウェイト戦略を継続する方針です。

為 替 戦 略：為替戦略において、米ドルについては今後の利上げが中長期的なサポート要因となり中長期的には相対的な投資魅力度が高いと考えていますが、レンジの範囲内で適宜調整する方針です。一方で、景気見通しが低調で金融政策が緩和的な通貨の投資魅力度は低いと考えています。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
	騰 落 率		騰 落 率			
(期 首) 2015年 5月25日	円 17,015	% —		% —	% 91.0	% —
5月末	17,312	1.7	119,576	1.4	91.1	—
6月末	17,030	0.1	117,821	△0.1	90.2	—
7月末	17,314	1.8	119,514	1.3	88.7	—
8月末	17,063	0.3	117,760	△0.1	94.4	—
9月末	17,015	0.0	117,295	△0.5	91.4	—
10月末	17,049	0.2	117,391	△0.5	89.0	—
11月末	17,058	0.3	117,623	△0.3	88.9	—
12月末	16,826	△1.1	115,736	△1.9	90.9	—
2016年 1月末	17,052	0.2	117,720	△0.2	85.3	—
2月末	16,128	△5.2	111,666	△5.3	84.5	—
3月末	16,445	△3.3	113,815	△3.5	89.3	—
4月末	15,892	△6.6	109,994	△6.7	88.3	—
(期 末) 2016年 5月23日	15,885	△6.6	109,849	△6.9	89.1	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

(注3) ベンチマークとしてシティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2015年5月26日～2016年5月23日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	6円 (5)	0.033% (0.032)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	6	0.033	

当期中の平均基準価額は、16,848円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 (2015年5月26日から2016年5月23日まで)

公社債

			買付額	売付額	
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 102,713	千米ドル 172,306	
		特殊債券	—	— (1,285)	
		社債証券	—	37,147 (8,000)	
	カナダ	国債証券	千カナダドル —	千カナダドル 12,370	
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 115,136	千メキシコペソ 127,168	
	ユーロ	ドイツ	国債証券	千ユーロ —	千ユーロ 37,919
		イタリア	国債証券	—	51,140
		フランス	国債証券	37,069	59,532
		オランダ	国債証券	—	33,071
			特殊債券	—	10,050
スペイン		国債証券	—	29,461	
ベルギー		国債証券	7,134	—	
その他		特殊債券	—	16,402	
国	イギリス	国債証券	千英ポンド —	千英ポンド 61,148	
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ —	千ポーランドズロチ 48,681 (88,820)	
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 23,151	千オーストラリアドル 87,551	
		社債証券	—	— (9,000)	
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 209,615	

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■主要な売買銘柄 (2015年5月26日から2016年5月23日まで)

公社債

買		付	売		付
銘柄	柄	金額	銘柄	柄	金額
		千円			千円
FRANCE 0.5%	25/5/25(ユーロ・フランス)	4,733,724	US TREASURY 4.5%	17/5/15(アメリカ)	8,714,286
US TREASURY 2.125%	25/5/15(アメリカ)	4,332,134	GERMANY 4%	37/1/4(ユーロ・ドイツ)	5,063,298
US TREASURY 0.625%	18/4/30(アメリカ)	3,276,711	FRANCE 6%	25/10/25(ユーロ・フランス)	4,561,170
US TREASURY 2%	25/8/15(アメリカ)	1,559,482	NETHERLANDS 2.25%	22/7/15(ユーロ・オランダ)	4,490,786
US TREASURY 3.5%	39/2/15(アメリカ)	1,374,802	AUSTRALIA 3.25%	25/4/21(オーストラリア)	4,457,315
AUSTRALIA 2.75%	24/4/21(オーストラリア)	1,318,059	US TREASURY 2.125%	21/8/15(アメリカ)	4,251,259
US TREASURY 2.25%	21/4/30(アメリカ)	1,035,092	ITALY 4.25%	19/2/1(ユーロ・イタリア)	3,919,645
BELGIUM KINGDOM 2.6%	24/6/22(ユーロ・ベルギー)	879,445	DEPFA ACS BANK 5.125%	37/3/16(アメリカ)	3,794,856
MEXICO 10%	24/12/5(メキシコ)	831,286	US TREASURY 1.625%	22/11/15(アメリカ)	3,555,220
AUSTRALIA 3.25%	25/4/21(オーストラリア)	678,798	US TREASURY 2.75%	19/2/15(アメリカ)	3,535,598

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2015年5月26日から2016年5月23日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2016年5月23日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千米ドル 271,006	千米ドル 290,669	千円 31,921,354	% 26.0	% —	% 14.9	% 3.9	% 7.2
カ ナ ダ	千カナダドル 26,970	千カナダドル 34,033	2,851,024	2.3	—	1.5	—	0.9
メ キ シ コ	千メキシコペソ 245,200	千メキシコペソ 310,224	1,858,242	1.5	—	1.5	—	—
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ						
ド イ ツ	20,000	32,602	4,018,947	3.3	—	3.3	—	—
イ タ リ ア	115,220	138,706	17,098,307	13.9	—	5.9	—	8.0
フ ラ ン ス	34,800	48,484	5,976,710	4.9	—	4.9	—	—
ス ペ イ ン	61,000	72,817	8,976,247	7.3	—	1.5	5.8	—
ベルギー	6,000	7,136	879,775	0.7	—	0.7	—	—
アイルランド	47,800	60,736	7,486,970	6.1	—	6.1	—	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 60,840	千英ポンド 75,692	12,053,297	9.8	—	6.1	3.7	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークロネ 178,500	千ノルウェークロネ 195,203	2,574,737	2.1	—	—	1.6	0.5
デンマーク	千デンマーククロネ 78,000	千デンマーククロネ 122,928	2,038,159	1.7	—	1.7	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 190,500	千ポーランドズロチ 199,315	5,566,887	4.5	—	0.6	—	3.9
オーストラリア	千オーストラリアドル 33,800	千オーストラリアドル 36,873	2,931,419	2.4	—	1.0	1.4	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 31,000	千ニュージーランドドル 31,920	2,376,771	1.9	—	—	1.9	—
南アフリカ	千南アフリカランド 148,400	千南アフリカランド 138,916	977,974	0.8	—	—	0.8	—
合 計	—	—	109,586,826	89.1	—	49.5	19.1	20.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示 (外貨建)

外国(外貨建)公社債

銘柄	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
US TREASURY	国債証券	0.625	30,000	29,848	3,277,932	2018/4/30
US TREASURY		2.75	27,900	29,230	3,210,056	2019/2/15
US TREASURY		2.25	9,000	9,372	1,029,324	2021/4/30
US TREASURY		2.125	37,600	38,537	4,232,140	2025/5/15
US TREASURY		2.0	6,200	6,284	690,179	2025/8/15
US TREASURY		—	30,000	22,434	2,463,810	2030/5/15
US TREASURY		5.375	7,660	10,885	1,195,437	2031/2/15
US TREASURY		3.5	10,000	11,877	1,304,391	2039/2/15
US TREASURY		4.25	35,000	46,219	5,075,859	2039/5/15
US TREASURY		4.375	15,000	20,215	2,220,057	2041/5/15
ONTARIO PROVINCE	地方債証券	2.0	5,000	5,073	557,223	2018/9/27
FGLMC	特殊債券	6.0	1,458	1,584	173,986	2022/11/1
FHLMC		7.0	1,095	1,291	141,873	2032/4/1
FNCL		6.0	457	487	53,580	2021/7/1
FNCL		6.0	197	208	22,937	2022/9/1
FNCL		6.0	218	230	25,347	2022/9/1
GENERAL ELECTRIC	普通社債券	5.25	10,000	10,632	1,167,712	2017/12/6
GOLDMAN SACHS GROUP		6.45	5,200	6,068	666,468	2036/5/1
HBOS TSY SRVCS		5.25	39,020	40,184	4,413,033	2017/2/21
小 計					31,921,354	
(カナダ)			千カナダドル	千カナダドル		
CANADA	国債証券	1.25	12,500	12,640	1,058,894	2018/3/1
CANADA		5.75	14,470	21,393	1,792,130	2029/6/1
小 計					2,851,024	
(メキシコ)			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
MEXICO	国債証券	10.0	245,200	310,224	1,858,242	2024/12/5
小 計					1,858,242	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ	千ユーロ		
GERMANY	国債証券	4.0	20,000	32,602	4,018,947	2037/1/4
(ユーロ…イタリア)			千ユーロ	千ユーロ		
ITALY	国債証券	5.25	75,220	80,015	9,863,492	2017/8/1
ITALY		6.0	15,000	22,648	2,791,871	2031/5/1
ITALY		5.0	25,000	36,042	4,442,943	2039/8/1
(ユーロ…フランス)			千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE	国債証券	0.5	12,000	12,157	1,498,699	2025/5/25
FRANCE		6.0	11,800	17,993	2,218,040	2025/10/25
FRANCE		4.5	11,000	18,333	2,259,970	2041/4/25
(ユーロ…スペイン)			千ユーロ	千ユーロ		
SPAIN	国債証券	4.0	21,000	24,032	2,962,538	2020/4/30
SPAIN		4.85	28,000	33,474	4,126,367	2020/10/31
SPAIN		4.65	8,000	10,190	1,256,164	2025/7/30
SPAIN		4.2	4,000	5,120	631,176	2037/1/31

モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・マザーファンド

銘柄	種類	当		期		償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ベルギー) BELGIUM KINGDOM	国債証券	2.6	千ユーロ 6,000	千ユーロ 7,136	千円 879,775	2024/6/22
(ユーロ…アイルランド) IRELAND IRELAND	国債証券	3.4 5.4	千ユーロ 33,000 14,800	千ユーロ 40,088 20,647	千円 4,941,737 2,545,233	2024/3/18 2025/3/13
小計					44,436,957	
(イギリス) UK TREASURY UK TREASURY UK TREASURY UK TREASURY	国債証券	3.75 5.0 4.25 4.25	千英ポンド 25,600 6,500 15,540 13,200	千英ポンド 28,852 8,468 20,284 18,087	千円 4,594,419 1,348,553 3,230,106 2,880,217	2020/9/7 2025/3/7 2032/6/7 2040/12/7
小計					12,053,297	
(ノルウェー) NORWAY NORWAY	国債証券	4.25 4.5	千ノルウェークローネ 48,500 130,000	千ノルウェークローネ 50,239 144,964	千円 662,659 1,912,077	2017/5/19 2019/5/22
小計					2,574,737	
(デンマーク) DENMARK	国債証券	7.0	千デンマーククローネ 78,000	千デンマーククローネ 122,928	千円 2,038,159	2024/11/10
小計					2,038,159	
(ポーランド) POLAND POLAND POLAND POLAND	国債証券	4.75 5.25 3.75 4.0	千ポーランドズロチ 59,000 50,500 56,000 25,000	千ポーランドズロチ 60,807 53,161 58,335 27,011	千円 1,698,360 1,484,800 1,629,302 754,424	2017/4/25 2017/10/25 2018/4/25 2023/10/25
小計					5,566,887	
(オーストラリア) AUSTRALIA EUROPEAN INVESTMENT BK INTER AMERICAN DEVEL BK	国債証券 特殊債券	2.75 6.5 6.5	千オーストラリアドル 15,000 13,800 5,000	千オーストラリアドル 15,620 15,581 5,671	千円 1,241,794 1,238,724 450,900	2024/4/21 2019/8/7 2019/8/20
小計					2,931,419	
(ニュージーランド) NEW ZEALAND	国債証券	3.0	千ニュージーランドドル 31,000	千ニュージーランドドル 31,920	千円 2,376,771	2020/4/15
小計					2,376,771	
(南アフリカ) SOUTH AFRICA SOUTH AFRICA	国債証券	7.25 6.75	千南アフリカランド 72,700 75,700	千南アフリカランド 69,432 69,484	千円 488,802 489,171	2020/1/15 2021/3/31
小計					977,974	
合計					109,586,826	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2016年5月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	109,586,826	86.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,306,175	13.6
投 資 信 託 財 産 総 額	126,893,001	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(116,244,762千円)の投資信託財産総額(126,893,001千円)に対する比率は91.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年5月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.82円、1カナダドル=83.77円、1メキシコペソ=5.99円、1ユーロ=123.27円、1英ポンド=159.24円、1ノルウェークローネ=13.19円、1デンマーククローネ=16.58円、1ポーランドズロチ=27.93円、1オーストラリアドル=79.50円、1ニュージーランドドル=74.46円、1南アフリカランド=7.04円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年5月23日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	171,260,720,573円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15,505,450,489
公 社 債(評価額)	109,586,826,860
未 収 入 金	45,006,526,015
未 収 利 息	1,116,673,469
前 払 費 用	23,360,870
差 入 委 託 証 拠 金	21,882,870
(B) 負 債	48,308,653,959
未 払 金	47,811,673,827
未 払 解 約 金 息	496,732,850
未 払 利 息	18,445
そ の 他 未 払 費 用	228,837
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	122,952,066,614
元 本	77,399,861,428
次 期 繰 越 損 益 金	45,552,205,186
(D) 受 益 権 総 口 数	77,399,861,428口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,885円

■損益の状況

当期(自2015年5月26日 至2016年5月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,048,586,245円
受 取 利 息	5,029,963,224
そ の 他 収 益 金	19,672,934
支 払 利 息	△1,049,913
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△14,147,384,823
売 買 益	12,752,079,507
買 買 損	△26,899,464,330
(C) 信 託 報 酬 等	△52,888,969
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△9,151,687,547
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	85,501,347,260
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,972,059,879
(G) 解 約 差 損 益 金	△34,769,514,406
(H) 計 (D+E+F+G)	45,552,205,186
次 期 繰 越 損 益 金(H)	45,552,205,186

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	121,876,274,255円
期中追加設定元本額	6,104,690,122円
期中一部解約元本額	50,581,102,949円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・オープン	432,149,490円
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・オープン VA(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	22,577,714,750円
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・オープン VA-2(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	182,323,647円
モルガン・スタンレー・グローバル・ボンド・オープン VA-3(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	52,848,081,198円
モルガン・スタンレー 外国債券ファンド(適格機関投資家専用)	1,359,592,343円
期末元本額合計	77,399,861,428円

■お知らせ

該当事項はありません。